

(2024年01月26日)

アッラーの家マスジド

あらゆる賞賛は、アッラーのもの。崇拜は、アッラーだけに対するものであり、神は、アッラー唯一であられることを証言する。また、ムハムドは、アッラーのしもべであり、使徒であることを証言する。

信者たちよ。至高のアッラーは、クルアーン御光章において述べておられる。

「アッラーが高く清いものとして建てられ、その御方の御名が唱えられることとなされた家では、朝に夕に、その御方を讃えて唱念（ズィクル）が行われる。」（24章 36節）

アッラーが高く清いものとして建てられた家とは、マスジドのことである。マスジドをアッラーの家というが、アッラーの教えを実現する為に敬虔な信者たちが作る場所であり、アッラーが住まわれる家ということではなく、象徴的にアッラーの家というのである。アッラーの御使い SAW が、「アッラーにとって地上にある最も好ましい場所は、マスジドである。」と述べたと伝えられている。それは、マスジドが献身的な信者、敬虔な信者、最も確かな礼拝を望む信者の為の場所だからである。そこで信者たちは、イスラームを教え合い、穏やかな気持ちで行いや言葉遣いについて学ぶ。預言者さま SAW は、「誠、マスジドは、アッラーを思い、礼拝し、クルアーンを読み学ぶ場所である。」と述べておられる。信者たちは、マスジドを特別な場所として大切にしなければならぬのである。至高のアッラーは、クルアーン・悔悟章において述べておられる。

「アッラーのマスジドは、ひたすらこれらの者（信者）によって管理されるべきである。（すなわち）アッラーと終末の日を信じ、礼拝の務めを守り、定め喜捨をし、アッラー以外の何ものをも畏れない者だけである。これらの者は、正しく導かれる者となるであろう。」（9章 18節）

マスジドを特別な場所として大切にすることが故に敬虔な信者たちは、清掃し、良い維持管理に心掛ける。誰でも、いずれかのマスジドに立ち入ろうとする信者は、良い服装で、そして、中では香しく立派なたたずまいで、最善の振る舞いを心掛けなければならない。至高のアッラーは、クルアーン・高壁章において述べておられる。

「アダムの子孫よ。いずこのマスジドでも清潔な衣服を身につけなさい。…」（7章 31節）
アブー・フライラは、アッラーの使徒 SAW が次のように述べたと述べている。「家で身体を清め、それからアッラーに対する義務の礼拝の一つを果すためにアッラーの家（マスジド）の一つに出向く者について、その者の歩みの一つは彼の罪を消し、もう一步は、天国でのアッラーからの報酬の階段を登らしめる。」



(2024年01月26日)

アッラーの家マスジド

マスジドを利用する信者たちは、入る前に香水をたしなみ、中を汚さないように心がけるが良い。マスジドを、信仰と崇拝行為の為の安心できる場所であり、イスラーム社会を代表する場所である。

至高のアッラーは、クルアーン・巡礼者章において述べておられる。

「…アッラーの儀式を尊重する態度は、誠に、心の敬虔さから出てくるもの。」(22章 32節)
マスジドを大切に思う思いは、アッラーの家(マスジド)の神聖さによるものである。それは、建物としての姿、装飾、歴史的な価値、いつも美しく保たれているからという理由にとどまらず、そこで敬虔な信仰行為が継続されてきたということにある。マスジドの神聖さを保持する為、日々の利用者が心掛けなければならないことがある。例えば、後から来る人を思い、そして、美しくあるために玄関に靴を脱ぎ散らさないということであり、玄関前の道路では、交通を妨げることなく、安全の保持する為、自動車を置きっぱなしにしたり、自転車を乱雑に止めたり、集まって話し込んだりすることがないように心掛けたいものである。

預言者ムハムマド、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当なカリフ、アブーバクル師、ウマール師、ウスマーン師、アリー師と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

アッラーよ、マスジドをよく訪れ、正しく利用する者の一人であるように御導き下さい。

アッラーよ、あなたさまを称讃し、あなたさまに感謝する者であるように御導き下さい。

アッラーよ、あなたさまを愛し、預言者さま SAW を愛する者であるように、御導き下さい。

アッラーよ、預言者ムハムマド SAW に従い、イスラームの教えを守る者にして下さい。

アッラーよ、私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

アッラーよ、日々の生活に活力と喜びを、そして安心と安全を御与え下さい。アーミーーン

